

令和7年度 アンケート結果及び自己評価結果
(ドットジュニア 蘇我第1教室 (児童発達支援・放課後等デイサービス))

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価を実施しています。
 自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見ご要望をもとに、業務サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R7/11/17～R7/12/5>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R7/11/17～ R7/11/25>
環境 体制 整備	訓練室等の適切なスペースの確保	教室内を見ることがほとんどないので、どうなっているのかわからないです。 職員の人数も多く安心感があります。	教室内の環境をご覧になっていただけるよう、モニタリング時に実際に教室にご来所いただく機会やお子様の活動の様子を見学いただける機会を設けていきます。また、保護者参観日を定期的に設け教室の様子を見ていただけるような仕組みを作ってまいります。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	アプリやLINEを活用できるので、毎回子供の様子を読むことができるし、相談、連絡がしやすくなりました。	HUGでの電子書籍化を進めて行ったり、プログラム予定表の配布をデータでも行っていたりと運営の質の向上に努めております。今後とも、LINEでの連絡等を迅速に対応してまいります。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切 な 支 援 の 提 供	適切なアセスメントの実施	学習支援はどれくらいして頂いてるのかわかりません。	たくさんのご意見ありがとうございます。学習時間に関しては20分～30分ほど確保し、教室が提供する課題や宿題に取り組んでおります。個別支援計画に関しましては、児童一人一人の特性を踏まえた内容を立案、計画していけるよう全職員で児童の課題や特性を共有し合い尽力いたします。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成	子供の特性にあった対応や支援を時間内にしてほしいので、専門性を高めてほしい。 職員の実際の接し方は問題なく、とても良いですが個別支援計画書はマニュアル通りだと感じます。	
	適切な活動プログラムの立案	お好み焼き、ピザを作ってみんなで食べるのがとても良い 自宅ではなかなかできないクッキングや実験のプログラムがありありがたいです。	
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認	包丁を使ったり、家ではやってくれないことをお友達がいるせいかドットジュニアではやってくれています。	
	支援終了後の振り返り	人との距離感を教えてくれて、ありがたく思います。子供がまた行きたいと言っているので、信頼しています。	
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	サービス担当者会議の実施	困り事の相談にのってくださり助かってます 子供の様子を見る機会がない。 hugでのフィードバックでは、良いところや活動内容などの事務的な報告ではなく、課題となるところ、前から成長した部分など、よく見てくれると感じます。	昨年から夏休みに保護者参観を数日間行い、保護者様がお子様の様子を見る機会を設けておりました。しかし、ご都合のつかないご家族が多く今年からは定期的な保護者参観の機会を設けていきたいと考えております。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレントトレーニング等の支援		

保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	面談では話を聞いて頂いていますが、活動中の怪我の連絡など連絡が遅いと感じることがあります。	怪我の報告が遅れてしまい大変申し訳ございませんでした。 送迎の際のご連絡だけではなく、支援中の怪我はその場でLINEにてすぐにお知らせしていけるよう改善してまいります。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	子供は、支援時間内の防災訓練に乗り気ではない。 どこに避難するのかわかりません。 最近津波警報がでた際には川が近くであっても連絡等なかったのでのどのように対応しているか再確認をお願いしたいです。	会社の取り組みとして、安全確保の観点から児童を含めた防災訓練の時間を毎月確保しています。お子様が楽しみながら訓練を行えるようプログラムを工夫していきます。 避難場所は地震、水害ともに蘇我小学校になります。震度5強以上で避難、児童の安全の確保が確認でき次第LINEやHUG、災害伝言ダイヤルでご家族に報告しております。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	特定のお子さんが大暴れしている日があるようで、つまらなかったと話す日が頻繁にあります。 数年の間 スタッフの入れ替わりが多く室長の名前も覚えられなくて落ち着かないと思っていたがここ1年ぐらいは定着しているので期待している 教室や職員の雰囲気や求めているところに合っている。 お出かけやクッキングなど様々なプログラムへ参加することができ、たくさんの経験を重ねることができている。異年齢との関わりが持てる。多方面からの視点で、客観的な様子がわかる。 表情が明るくなり、自傷や他害がなくなりました クッキング 理科の実験 手品パソコン操作、プログラミングを増やしてほしい LINE、紙、hugとあり、見返すときにどこにあるか忘れてしまうので申し込みやサイン等もHUGに一本化できるとよいのではと思います。	要見守りのお子様には職員が個別対応を行っていますが、空間を分けたり教室に通う児童の安全の配慮と安心して通っていただける取り組みを続けてまいります。 職員の入れ替わりが以前は激しく不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。今後ともお子様を安心して預けられる環境を職員一同作り上げていきますのでよろしくをお願いします。
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		